

# 第 89 回日本薬理学会年会

## 寄付金募集趣意書

第 89 回日本薬理学会年会  
年会長：石井 邦雄  
(北里大学薬学部分子薬理学教室 教授)

【ご挨拶】

謹啓 時下ますますご隆昌のこととお慶び申し上げます。

平素は本学会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、第 89 回日本薬理学会年会を、平成 28 年 3 月 9 日(水)～11 日(金)の 3 日間、パシフィコ横浜会議センターにおいて開催させていただくこととなりました。

薬理学は薬物の作用機序解明を中核に据えた学問として、長く医学・薬学の分野で伝統を積み重ねてまいりました。しかし近年は、従来からの生命現象の探求、新薬の創製、薬物治療への貢献等に加え、組織再生などの先端医療までもも包含した基礎から臨床にわたる幅広い分野をカバーする基盤的総合科学へと、大きな変貌を遂げつつあります。それに伴い、薬理学の重要性は日増しに高まっていると言っても過言ではなく、私たちには、近い将来のおぼろげな姿すら容易に展望することができません。本年会のテーマ “Voyage beyond the Horizon” は、このような現実を踏まえ、未知の領域への果敢な挑戦によって、まだ見ぬ新たな薬理学像を創造していかなければならないという方向性を示すものとして、提案させていただきました。

日本薬理学会は約 5,000 名の会員で構成されております。年会は薬理学の発展を目指して昭和 2 年より開催されている年一回の学術大会であり、今回で第 89 回を迎える本学会の中心行事です。本学会は、年会の開催を通じて、日本薬理学会の会員のみならず、国内外で薬理学に関連する諸分野で活躍されている方々が一堂に会し、学術的な討論を行うと同時に懇親を深める貴重な機会を提供してまいりました。特に今回は、薬理学の新たな展開、企業研究者の視点からの薬理学研究、若手研究者の育成、男女共同参画の推進等、本学会が取り組むべき重要なテーマについて企画を立てるとともに、広く会員諸氏のご提案を取り入れて、有意義な年会となるよう全力で取り組んでまいります。ちなみに、第 89 回年会の参加者は、約 3,000 名を見込んでおります。

現在、関係各位のご協力のもと、開催に向けて鋭意準備を進めております。本年会の運営に関しましては、簡素、質素を旨とし、可能な限り経費節減に努める所存ではありますが、会場の設営や運営にかなりの経費が必要と見積もられるため、出席者の参加費のみでまかなうことは極めて困難であり、皆様方のご支援をお願いせざるを得ないのが実情です。

つきましては、諸経費ご多端の折、誠に恐縮ではございますが、本年会の趣旨にご賛同くださり、また企画の意義をご理解の上、是非とも資金面でのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

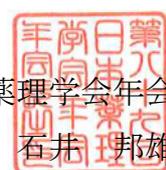
本来ならば参上し、拝眉の上お願いすべきところでございますが、本書面をお借りして、ご高配とご援助を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

未筆ながら、なお一層のご発展を衷心より祈念申し上げます。

謹白

平成 27 年 5 月 吉日

第 89 回日本薬理学会年会  
年会長 石井 邦雄



(北里大学薬学部分子薬理学教室 教授)

## I 開催概要

1. 会議名称  
第 89 回日本薬理学会年会
2. テーマ  
*Voyage beyond the Horizon*
3. 会期  
平成 28 年 (2016 年) 3 月 9 日 (水)・10 日 (木)・11 日 (金)
4. 会場  
パシフィコ横浜 会議センター  
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1  
TEL: 045-221-2155
5. 主催団体名称  
公益社団法人 日本薬理学会
6. 年会長  
石井 邦雄 (北里大学薬学部分子薬理学教室 教授)
7. 年会事務局  
北里大学薬学部分子薬理学教室  
〒108-8641 東京都港区白金 5-9-1  
TEL/FAX: 03-3444-6205  
E-mail: [jps2016@pharm.kitasato-u.ac.jp](mailto:jps2016@pharm.kitasato-u.ac.jp)
8. 会議の目的  
薬理学に関連する諸分野において国内外で活躍する者が一堂に会し、学術的な討論を行うと同時に懇親を深める貴重な機会を提供し、生命現象の探求、新薬の創製、薬物治療、組織再生などの先端医療への貢献を通じて、広く人類の福祉と健康に貢献することを目的とする。

9. 組織委員（五十音順）

赤羽 悟美	東邦大学医学部
厚田幸一郎	北里大学薬学部
池谷 裕二	東京大学大学院薬学系研究科
石川 智久	静岡県立大学大学院薬学研究科
伊藤 芳久	日本大学薬学部
大熊 康修	千葉科学大学薬学部
岡 淳一郎	東京理科大学薬学部
小野 景義	帝京大学薬学部
川西 徹	国立医薬品食品衛生研究所
吉川 公平	田辺三菱製薬株式会社薬理第二研究所
熊谷 雄治	北里大学医学部
栗原 順一	帝京大学薬学部
小林 恒雄	星薬科大学医薬品化学研究所
杉山 篤	東邦大学医学部
田中 光	東邦大学薬学部
田中 芳夫	東邦大学薬学部
田辺 光男	北里大学薬学部
田野中浩一	東京薬科大学薬学部
堀江 俊治	城西国際大学薬学部
馬嶋 正隆	北里大学医学部
松原 肇	北里大学薬学部
三澤日出巳	慶應義塾大学薬学部
安井 正人	慶應義塾大学医学部
山脇 英之	北里大学獣医学部
吉山 友二	北里大学薬学部
渡邊 泰雄	横浜薬科大学総合健康メディカルセンター

10. 会議計画の概要

平成 28 年 (2016 年) 3 月 9 日 (水)・10 日 (木)・11 日 (金) にわたって、  
以下のようなプログラムを予定しております。

開催日	午前	午後	ター夜
3 月 9 日 (水)	特別講演、シンポジウム、 一般口演、ポスター発表、 試薬・研究用機器・書籍展示、 アカデミア展示、 創薬オープンイノベーション(展示)	学術評議員会、通常総会、 特別講演、シンポジウム、 一般口演、ポスター発表、 ランチョンセミナー、 試薬・研究用機器・書籍展示、 アカデミア展示、 創薬オープンイノベーション(展示)、 テクニカルプレゼンテーション、 若手研究者キャリア支援プログラム ( 研 究 発 表 )	若手研究者 キャリア支援 プログラム (交流会)
3 月 10 日 (木)	特別講演、ワークショップ、 シンポジウム、一般口演、 ポスター発表、 試薬・研究用機器・書籍展示、 アカデミア展示、 創薬オープンイノベーション(展示)、 テクニカルプレゼンテーション	プレナリーレクチャー、 特別講演、シンポジウム、 一般口演、ポスター発表、 江橋賞・学術奨励賞受賞講演、 ランチョンセミナー、 試薬・研究用機器・書籍展示、 アカデミア展示、 創薬オープンイノベーション (展示・プレゼンテーション)	懇親会
3 月 11 日 (金)	特別講演、ワークショップ、 シンポジウム、一般口演、 ポスター発表、 試薬・研究用機器・書籍展示、 アカデミア展示、 創薬オープンイノベーション(展示)、 テクニカルプレゼンテーション	特別講演、シンポジウム、 一般口演、ポスター発表、 ランチョンセミナー、 試薬・研究用機器・書籍展示、 アカデミア展示、 創薬オープンイノベーション (展示・プレゼンテーション)	

【プレナリーレクチャー】

- ・ 大村 智  
北里大学 特別荣誉教授

【特別講演】

- ・ Peter Carmeliet, MD, Ph.D.  
Professor, Laboratory of Angiogenesis & Neurovascular Link, Vesalius Research Center, Vlaams Instituut voor Biotechnologie, University of Leuven, Belgium.
- ・ Pierre-Jean Corringer, Ph.D.  
Research Director (DR1) at Centre National de la Recherche Scientifique, Channel Receptors Unit, Institut Pasteur, France.
- ・ Michela Gallagher, Ph.D.  
Professor, Department of Psychological and Brain Sciences, Johns Hopkins University School of Arts and Sciences, USA.
- ・ William C. Sessa, Ph.D.  
Professor, Department of Pharmacology, Yale University School of Medicine, USA.
- ・ 赤池 昭紀  
名古屋大学大学院創薬科学研究科  
細胞薬効解析学分野 教授
- ・ 水島 昇  
東京大学大学院医学系研究科 分子細胞生物学専攻  
生化学・分子生物学講座 分子生物学分野 教授
- ・ 宮園 浩平  
東京大学大学院医学系研究科 病因・病理学専攻  
分子病理学分野 教授
- ・ 山下 俊英  
大阪大学大学院医学系研究科  
解剖学大講座 分子神経科学分野 教授

【教育セミナー】

- ・ 薬理学教育セミナー
- ・ 研究倫理セミナー
- ・ キャリア形成セミナー
- ・ 危険ドラッグセミナー

など

【シンポジウム】

- ・ レギュラトリーサイエンスの進歩と医薬品審査
- ・ iPS 細胞：創薬研究における現状と課題
- ・ CRISPR/Cas 法によるゲノム編集技術
- ・ 生理機能発現における臓器間ネットワークの重要性
- ・ パーソナルゲノムデータとビッグデータが描く未来の医療
- ・ 薬理学研究における計算科学：生体機能シミュレーションの応用
- ・ 看護における薬理学教育を考える～薬物治療に強い看護師を育てるには～
- ・ ダイバーシティー推進

など

【ワークショップ】

- ・ 小胞体ストレス入門
- ・ オートファジー入門
- ・ ノックアウト・ノックダウン実験入門

など

【一般演題・口頭発表／ポスター発表】

300 演題の口頭発表および 500 演題のポスター発表を行います。

【若手研究者キャリア支援プログラム（研究発表，交流会）】

学部学生、大学院生あるいは博士研究員などが自身の研究をアピールすることにより、医療関係企業の方との交流を深める場を提供します。

【創薬オープンイノベーション】

創薬・薬理関連分野における企業とアカデミアの産学連携のための情報交換の場を提供します。

【ランチョンセミナー】

昼食時に約 12 のランチョンセミナーを行います。

11. 予想参加者数

約 3,000 人（無料招待者約 200 名含む）

12. 参加対象者

医学研究者、薬学研究者、歯学研究者、獣医学研究者、企業研究者、医師、看護師、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、CRC（臨床研究コーディネータ）、医療系の大学院生と学部学生など

13. 展示

試薬、研究用機器、書籍などを幅広く展示し、年会参加者への情報提供の場とします。

14. お問い合わせ先

第 89 回日本薬理学会年会 運営事務局

株式会社 アイ・エス・エス内（担当：石川）

〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル 8 階

TEL: 03-6369-9984 FAX: 03-3453-1180

Email: [jps2016@issjp.com](mailto:jps2016@issjp.com)

## II 寄付金募集要項

1. 寄付金の名称  
第 89 回日本薬理学会年会
2. 寄付金の目標額  
3,000,000 円（日本製薬団体連合会からの寄付金は含みません）
3. 募集期間  
平成 27 年（2015 年）6 月 1 日（月）～平成 28 年（2016 年）3 月 8 日（火）
4. 募集対象  
日本製薬団体連合会、各種医療関係団体・企業、個人
5. 寄付金を募集する理由  
本学会年会には、約 3,000 名の参加が予想され、会議開催の準備・運営に関する経費は、76,724,800 円が見込まれます。これらの諸経費は、本来参加者の参加登録費など個人で負担する経費でまかなうことが当然であります。参加者が個人で負担できる金額には限界があり、参加費のみでは運営が非常に困難な状況にあります。従いまして、必要経費の相当額を、皆様からのご援助に頼らざるを得ないのが実情であります。誠に恐縮ではございますが、本学会の意義をご理解くださり、ぜひご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。
6. 寄付金使途  
第 89 回日本薬理学会年会開催のための準備および運営費用
7. 寄付金の納入先  
本学会の開催趣旨にご賛同くださり、ご協力いただけます場合は、寄付金申込書にご記入のうえ、寄付金申込先までメール添付または FAX でお送りください。寄付金は、下記の銀行口座にお振込をお願いいたします。

銀行・支店名：みずほ銀行（金融機関コード：0001）本郷支店（店番号：075）  
預金種目・口座番号：普通預金 2892040  
口座名：公益社団法人日本薬理学会（コウエキシヤダ ンホウジ ンニホンヤクリガ ッカイ）

寄付金申込書のご提出がない場合は、照合確認に時間がかかり領収書の発送が遅れることがありますので、ご協力の程お願いいたします。

8. 寄付金の申込先

第 89 回日本薬理学会年会事務局

〒108-8641 東京都港区白金 5-9-1

北里大学薬学部分子薬理学教室内 TEL/FAX: 03-3444-6205

E-mail: jps2016@pharm.kitasato-u.ac.jp

9. 税法上の取り扱い

本学会は平成 24 年 1 月 4 日付で「公益社団法人 日本薬理学会」となりました。「公益社団法人」は、新しい認定基準により公的に認められた公益性の高い法人であり、本学会への寄附金は所得税や法人税などに対する優遇措置の対象となります。個人から本学会への寄附金は、所得税における公益社団法人等寄附金特別控除の対象となります。ご寄付下さった個人の方の居住地によっては、個人住民税につきましても控除対象となる場合があります。また、法人から本学会への寄附金は、特定公益増進法人に対する寄附金として認められ、別紙にお示しした金額を一般の寄附金とは別枠で損金の額に算入できます。

10. 本学会に対する寄付金拠出の公開

本学会は、寄付金を拠出いただいた法人が、日本製薬工業協会の定める「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に従い、ウェブサイト等を通じて本学会に対して寄付金を拠出した事実を公開されることに同意いたします。

11. 本学会に関する問い合わせ先

第 89 回日本薬理学会年会 運営事務局

〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル 8 階

株式会社 アイ・エス・エス内 TEL: 03-6369-9984 FAX: 03-3453-1180

E-mail: jps2016@issjp.com

III 収支計画書

株式会社アイ・エス・エス作成  
2015年4月9日

取入の部]			
項目	単価	数量	総計
<b>I. 参加登録料</b>			<b>25,940,000</b>
第1期事前参加登録 学術評議員	10,000	100 名	1,000,000
第1期事前参加登録 一般会員	9,000	450 名	4,050,000
第1期事前参加登録 大学院生	3,000	230 名	690,000
第1期事前参加登録 学部学生	1,000	180 名	180,000
第1期事前参加登録 非会員	13,000	150 名	1,950,000
第2期事前参加登録 学術評議員	12,000	80 名	960,000
第2期事前参加登録 一般会員	11,000	400 名	4,400,000
第2期事前参加登録 大学院生	3,000	180 名	540,000
第2期事前参加登録 学部学生	1,000	130 名	130,000
第2期事前参加登録 非会員	14,000	120 名	1,680,000
当日参加登録 学術評議員	13,000	50 名	650,000
当日参加登録 一般会員	13,000	350 名	4,550,000
当日参加登録 大学院生	4,000	100 名	400,000
当日参加登録 学部学生	2,000	80 名	160,000
当日参加登録 非会員	15,000	100 名	1,500,000
懇親会費 事前登録	10,000	250 名	2,500,000
懇親会費 当日登録	12,000	50 名	600,000
			懇親会参加 300名想定
<b>II. 展示会・広告・寄付</b>			<b>50,784,800</b>
ランチセミナー 大会場	1,728,000	3 社	5,184,000
ランチセミナー 中会場	1,512,000	6 社	9,072,000
ランチセミナー 小会場	1,080,000	3 社	3,240,000
機器展示 基礎小間	216,000	50 小間	10,800,000
機器展示 スペース小間	216,000	20 小間	4,320,000
書籍展示	16,200	20 本	324,000
テクニカルプレゼンテーション	100,000	6 社	600,000
広告 プログラム集 表4	216,000	1 社	216,000
広告 プログラム集 表3	151,200	1 社	151,200
広告 プログラム集 表2	183,600	1 社	183,600
広告 プログラム集 後付A カラー1P	129,000	10 社	1,290,000
広告 プログラム集 後付A モノクロ1P	86,400	10 社	864,000
広告 プログラム集 後付B モノクロ1/2P	54,000	10 社	540,000
寄付	14,000,000	1 式	14,000,000
<b>取入合計</b>			<b>76,724,800</b>

[収支の部]				
項目	単価	数量	総計	
<b>I. 会議準備費</b>			<b>19,033,000</b>	
<b>1. 人件費</b>			<b>1,950,000</b>	
事務局運営費 2015年4月～2015年12月)	150,000	9ヶ月	1,350,000	
事務局運営費 2016年1月～2016年3月)	200,000	3ヶ月	600,000	
<b>2. 旅費</b>			<b>4,000,000</b>	
招聘者交通費	900,000	4件	3,600,000	概算(北米もしくはヨーロッパ圏往復ディスカウントビジネス)
招聘者宿泊費	25,000	4人 4泊	400,000	横浜インターコンチネンタルホテル
<b>3. 庁費</b>			<b>12,336,200</b>	
(1) 借料			120,000	
(2) 印刷・制作費			6,335,700	
学会用封筒	30	4,000部	120,000	
A4チラシ	35	3,000部	105,000	
ポスター	400	300部	120,000	
プログラム集	700	3,000部	2,100,000	
学会ウェブサイト作成(日・英)			1,282,000	
参加登録システム			795,200	
演題投稿システム			80,000	
宿泊予約システム			30,000	
ホームカード	350	3,000部	1,050,000	ストラップ含む
抄録閲覧システム			653,500	
(3) 備品消耗品費			100,000	
(4) 通信運搬費			205,500	
(5) 会議費			100,000	
(6) 雑務費			5,475,000	
参加登録管理費	700	2,700件	1,890,000	
一般演題処理費	3,000	650件	1,950,000	
指定演題管理費	3,000	350件	1,050,000	
広告管理	3,000	20件	60,000	
出展社管理	5,000	90件	450,000	
オンライン・共催セミナー共催者管理	5,000	15件	75,000	
<b>4. 営業管理費</b>			<b>746,800</b>	
<b>II. 会議運営費</b>			<b>51,987,082</b>	
<b>1. 人件費</b>			<b>5,173,000</b>	
チーフディレクター	40,000	1人 4日	160,000	設営含む
アシスタントディレクター	35,000	2人 4日	280,000	設営含む
会場ディレクター	35,000	9人 4日	1,260,000	9会場想定/設営含む
受付ディレクター	35,000	2人 3日	210,000	
PC 映像オペレーター	35,000	9人 4日	1,260,000	9会場想定/設営含む
PC データ 受付スタッフ(データ確認要員)	35,000	4人 3日	420,000	
照明技術者	36,000	1人 4日	144,000	設営含む/パシフィコ
音響技術者	36,000	1人 4日	144,000	設営含む/パシフィコ
学生アルバイト				
会場係	10,000	16人 3.5日	560,000	オリエン含む
ポスター会場係	10,000	2人 3.5日	70,000	オリエン含む
参加受付係	10,000	15人 3.5日	525,000	オリエン含む
クローク 誘導係	10,000	4人 3.5日	140,000	オリエン含む
<b>2. 旅費</b>			<b>312,000</b>	
ディレクター宿泊費 実費精算	8,000	13人 3泊	312,000	
<b>3. 庁費</b>			<b>44,840,000</b>	
(1) 借料			35,840,000	
会場費			22,800,000	パシフィコ横浜 ¥5,700,000×4日(設営日1日を含む)
受付機材・オペレーション費			1,500,000	
口演会場機材			8,300,000	9会場想定/設営含む
ポスター関連			551,000	
展示関連機材			1,231,000	
クローク			758,000	
看板等会場設営諸経費			700,000	
(2) 印刷制作費			1,060,000	
感謝状			160,000	¥8,000×20名を想定
座長謝礼			900,000	¥2,500×360名を想定
(3) 通信運搬費			20,000	
(4) 懇親会			3,100,000	
飲食費	9,500	300人	2,850,000	
資料	250,000	1式	250,000	
(5) 理事会会議	30,000	10式	300,000	
(6) 会長招宴	15,000	40人	600,000	
(7) 市民公開講座			950,000	
講師謝金	200,000	3人	600,000	参加登録人数500人想定
広告制作費(チラシ、ポスター)	200,000	1式	200,000	チラシ2000部・ポスター600部
簡易参加登録システム	50,000	1式	50,000	
参加登録管理費	200	500人	100,000	
(8) 託児室			500,000	
(9) 雑務費			2,470,000	
講師車代	700,000	1式	700,000	
運営マニュアル(RDF納品)	150,000	1式	150,000	
カメラマン	40,000	1名 3日	120,000	
ドリンクコーナー	250	2,000杯 3日	1,500,000	
<b>4. 営業管理費</b>			<b>1,662,082</b>	
<b>III. 事後処理費</b>			<b>21,400</b>	
<b>1. 人件費</b>			<b>0</b>	
<b>2. 庁費</b>			<b>20,000</b>	
(1) 借料			20,000	
(2) 印刷制作費			0	
<b>3. 営業管理費</b>			<b>1,400</b>	
<b>小計 (I + II + III)</b>			<b>71,041,482</b>	
<b>消費税 (8%)</b>			<b>5,683,318</b>	
<b>支出合計</b>			<b>76,724,800</b>	
<b>[収支の差(収入-支出)]</b>			<b>0</b>	

宛先: 第 89 回日本薬理学会年会事務局 行  
 メール添付、または FAX でお送りください。  
 E-mail: jps2016@pharm.kitasato-u.ac.jp, FAX: 03-3444-6205

## 寄 付 金 申 込 書

\*第 - 号

平成 年 月 日

公益社団法人 日本薬理学会 御中

第 89 回日本薬理学会年会の目的・事業に賛同し、その運営資金として下記の金額を寄付します。

ご寄付いただく金額	円
お振込予定日	年 月 日頃

ご芳名／貴法人名／貴団体名	フリガナ
お取扱部署名 (法人・団体の場合)	フリガナ
ご担当者名 (法人・団体の場合)	フリガナ
ご住所 (領収書の送付先を ご記入ください)	〒
TEL	
FAX	
E-mail	

領収書のお宛名 (上記以外をご希望の場合)	
名称等の掲載 (ウェブページ・抄録集等)	一方に○をお付けください。 掲載可                      掲載不可

\* (整理 入金 年 月 日・通帳 ページ 行)

\*印の欄は日本薬理学会で使用します (ご記入は不要です)

## ■日本薬理学会にご賛助いただく皆様へ■



### 「税制優遇措置」のご案内

公益社団法人日本薬理学会への寄附金には、公益法人への寄附として、所得税・法人税の税制上の優遇措置を受けることができます。また、一部の自治体では、個人住民税の寄附金控除の対象となります。

#### ◆個人の税制優遇について◆

##### 1. 所得税

寄附金から2千円を差し引いた金額を寄附者の年間所得から控除できる所得控除(年間所得の40%が限度)と寄附金から2千円を差し引いた金額に4割を乗じた額を所得税額から控除できる税額控除(所得税額の25%が限度)のいずれか有利な方の選択適用が可能です。

##### ○所得控除

$(\text{寄附金合計}^{\ast 1} - 2,000\text{円}) = \text{所得控除額}$

※1 所得金額の40%相当額が限度

##### ○税額控除

$(\text{寄附金合計}^{\ast 1} - 2,000\text{円}) \times 40\% = \text{税額控除額}^{\ast 2}$

※1 所得金額の40%相当額が限度

※2 所得税額の25%が限度

##### 2. 個人住民税

都道府県民税および市区町村民税につきまして控除対象となるか否かは、居住地により異なります。詳細はお住まいの各都道府県および市区町村へお問い合わせください。寄附金控除の上限額は、年間所得の30%までとなります。

#### ◆法人の税制について◆

当法人に対する寄附金は、その寄附金の合計額と寄附金の損金算入限度額のいずれか少ない金額が損金に算入されます。

税制改正により損金算入限度額が拡大しました。

#### ◆◆公益法人への寄附金の損金算入限度額の計算◆◆

$(\text{資本金等の金額}^{\ast} \times 0.375\% + \text{所得金額} \times 6.25\%) \div 2$

※ 資本金等の金額：資本の金額と資本積立金の合計額

#### 必要な手続き

確定申告書に、「寄附金の損金算入に関する明細書」(別表十四(二)) および当法人が発行する領収書を添付して提出します。この領収書は当法人よりご郵送致します。

限度額は、法人の資本金等の金額や所得の金額によって異なります。



公益社団法人 日本薬理学会

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル

TEL:03-3814-4828 FAX:03-3814-4809

society@pharmacol.or.jp <http://www.pharmacol.or.jp>



府益担第6790号  
平成24年7月20日

公益社団法人日本薬理学会  
岩尾 洋 殿

内閣総理大臣  
野田 佳彦



税額控除に係る証明書

貴法人が、租税特別措置法施行令第二十六条の二十八の二第一項に規定する要件を満たしていることを証明します。

本証明書に係る有効期間は、以下のとおりです。

平成24年7月20日 から 平成29年7月19日 まで